

常盤毎日新聞

刊夕 日八十月五

奥様心得帳

色々化ける手拭や風呂敷
 歳暮やお年玉に、諸方から貰ふ手拭や風呂敷も、さう／＼は使ひ切れず、澤山たまと始末に困るが併し一寸工夫すると色々役に立つものですよ。

柄のよい手拭を三本横に縫ひ合せて縁をとると風雅な食卓かけが出来ます。

▼手拭十二本を用ひますと寝巻の浴衣が出来ます。(袖に二本、身頃六本肩の部分二本、衿と衤二本)六本使へばお掃除用のエプロンが出来ます。これは二本を袖に四本を身頃に用ゐる。

▼六本を前後の身頃のやうに縫つて、搔卷の裏あてにすると、裏が汚れず傷まず、これなら時々外づして洗濯も出来ます。接ぎ目を上手に縫いで、紗や絹の帯のしんに用ゐると非常に風雅です。

▼六本位用ゐて大きな袋を作り、口を引きしめる様にしておくと引越や非常の時など種々なるものを入れるに便利です。

▼子供さんの多い家庭では一本で一つつゞ袋を作り

足袋や靴下などを一人分づゝ各自整理するやうに與へる。これには各々の名前をつけて。

▼タオルのものは子供の寝冷え知らずや寝巻につくり、また三本位つぎ合せて炬燵ふとんの裏に縫ひつけて置くこと、よござず火傷みしません。

▼風呂敷は二枚用ゐれば大きな座布団が出来ます。風呂敷は夜着や搔卷の肩當てもよく、四枚用ゐれば掛布団の裏又はコタツ布団の表になる。

黄ザラはこれに比べて養価は高し煮物に使つて一番経済であることは既に實験済みです。白砂糖を使ふところは白ザラを使つて御覽なさい三盆白よりはよく効きます。つまり糖分が多いといふことです。

よく利く糊の作り方
 先づ温湯一リットルに明礬一オンスをとかし、冷えてからうどん粉をクリーム状になるまで徐々に加へ、更に粉末樹脂を茶さじに一杯加へてかきまぜた後鍋に入れて火に載せ、適當のねばり気が出るまで常にかきまぜながら煮つめます。

目薬のさし器利用

定価 一部金銭... 発行所 常盤毎日新聞社

黄ザラはこれに比べて養価は高し煮物に使つて一番経済であることは既に實験済みです。

目薬をさすガラスの細い管、あれが不要になつたら捨てないで、フケ取り香水やベルツ水などをつける時に利用して便利です。

その他料理の際に酢などを少量加へる場合にこれを使ふと、分量を過す心配もなく、硯に水を差す時、インクのスポート代用小鳥に薬を與へる時にといろ／＼役に立ちます。

市原醫院

平・田町
 電話一四四番

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に讀める
 川崎巡文庫
 (申込次第規則書進呈)

新車御披露!!

時代の尖端皆様の昭和タクシーに又々新車三五年の超モダン車拔群のダツチブラザースが入りました。安全、確實、迅速は他の追従を許しません。匆匆しかつたお花見も過ぎ去りいよ／＼遠出行樂の季節となりました、是非昭和の新車でお出かけ下さい、如何様の御相談にも應じます。團體には地方唯一の大型遊覽車御利用願ひます。

驛前 昭和タクシー
 電話三四三・三四〇番

喜多流 謡曲と仕舞の稽古を奨め致します

平町田町六九
 喜多流 謡曲 舞白 土會
 電話二二七番

麒麟生ビール

ビール黨のビール
 キリン生ビール
 近日常發賣
 平會館
 電話 624

SMカメラ

新緑招く



少年用 二ノ型
 少トスベロ 二ノ型
 十二円 十五円
 二十円 二十五円

花も散つて、自然は緑の世界と變りました。野に山に、ハイキングの好شینズです。Mスカメラこそ貴方の樂しき一日を永遠に残すのでせう。

平野 前
 部ラメカやみづい

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
 醫學士 鈴木 正男
 平町田町(電話五八番)
 藤田女學校前

病に勝て!!
 肺病、ロクマク、神經衰弱、營養不良、不眠症其他に.....

阿部藥舖

平 田 町
 強增精血 すっぽん蒸焼

低調政治に

生民の苦惱

政友部會の宣言

氣勢を揚ぐ

議會報告の獅子吼

石城政友部會は既記の如く本日午後二時より聚樂館に於て總會を開き會長木村元代議士座長席に着き役員改選の結果

(會長)代議士鈴木辰三郎 (副會長)小野晋平 古川傳一

と決定新會長鈴木辰三郎代議士の新任挨拶あつて左記の宣言決議を満場一致可決直ちに議會報告演說會に移り佐藤庄太郎・鈴木辰三郎兩代議士の詳細に亘る政友會の動向及び現下時局の狀勢に關して力説する處あり萬雷の拍手に迎へられて本部特派員牧野良造代議士、田子一民代議士の演說あり現政府の失政を擧げて完腐なき迄縦横の長舌を揮つて聽衆を肯定せしめた

宣言

國運伸張、民福の増進は一に善良なる政治の運用によつて之を確保せらるる現内閣成つて既に十ヶ月餘、軍需工業貿易關係等財界一部の股脈に眩惑して農山漁村、中小商工業者瀕死の痛苦を察せず徒

らに財政の調整に囚はれ國民生活と地方自治體との壊滅に瀕せるを知らずして、之が匡救復興に完全を致すの經綸なし。口に民意の暢達を誓ふも豈よく之を爲し得るものぞ加ふるに誠意を以て政黨の政策を迎へず常に舉國一致の形態を裝ひ最近支柱補強の材として屋上屋の内閣審議會を創め、政府の外廓に設けられたる防風林の蔭に其の安きを求めんとすまさに官僚政治の本態にして國民を基礎とする政黨政治の斷じて認容すべからざる處なり、而も我黨が國防と産業との均衡を失せる跛行的の十年度豫算を承認したるは國家の現狀より觀て寔に恠に己むを得ざるに出でたるのみ。翻つて地方當今の情勢を見るに何等定見を藏せざる低調政治に基く生民の苦惱は僅かに生氣ある炭界を除き各方面を擧げて彌々倍々深刻ならんとす、國家の深憂大患ならずとせんや今にして政策を轉換せしめ振興の大綱を樹て國家の康寧と衆庶の安泰とを劃するに非んば我が天下

國家の將來を如何せん吾人は過ぐる第六十七議會を通じて政黨に基礎を置かざる内閣の如何に無力にして政黨の存在が立憲政治の運用に飽迄必要なる所以を痛感せしめられたり茲に部會總會を開くに當り産業立國の大本に基調せる積極進取の既定方針に則り、欽定憲法の大道に奨励し須く政黨政治の確立に勇往邁進せん事を期す 敢て宣言す

一、我黨既定の政策を實行し速かに生氣を恢復せん事を期す
乙號
一、農山漁村、中小商工業者の誕生を期す
一、石炭運賃値下げの實現を期す
一、平商業學校、植田專修學校の縣移管を期す
一、省營バス、ガソリンカーの運轉其他地方交通網の整備を期す
一、道路、橋梁、港灣、治水等地方關係土木事業の促進實現を期す

農村教育の再吟味

工場地となつた錦村で

大が、りな講習會

錦村小學校では第一區教育會後援の下に來月一、二日兩日同校で勞作教育研究講習會を開催するが右講習會は純農村であつた錦村が昨秋來同村に新設の昭和入組工場地となつて一躍工場地帯としての生活景觀下に支配される、状態にある爲に支配される、状態にある爲に同村教育の再吟味の必要に迫られたもので今回の講師は本邦勞作教育研究の權威者を以て網羅し本部教育關係講習會中の白眉ともいふべきで講師並に演題左の如し

「現代教育思潮と勞作教育」玉川學園長小原思芳「作業教育の眞隨と郷土教育の實際」東京女高師教授齊藤英夫「報恩精神と教化村經營の實際」縣視學水野治「所感」視學古川佐壽馬「全村教育

へ申込みられたしと

△世界日本著名勞作學校寫真展覽會△全國綴方優良文集展覽會△昭和入組工場見學

平と富岡の

劍道試合

平武徳會劍道部は今月未富岡支部の猛者十餘名の劍士を招ぎ平署道場で對抗試合を行ふ事となり連日猛練習を行つて居る

九品寺に

農繁托兒所

來月中旬開所

平町九品寺では昨十七日午後五時から役場及地元區長青年團長等と協議せる結果來月十二日から十日間農繁期托兒所を開設し無料で農家の子供を預ることになつた

海軍思想の普及

模倣演習や軍樂隊

平海軍班の活躍

平町在郷軍人海軍班では來る廿七日の海軍記念日當日市内で模倣演習、軍樂隊演奏會を開催する外海軍思想普及の爲め廿六日より三日間市内各學校藝妓屋組合片倉工場等を動員して「皇國の興廢此の一戦にあり」で有名なゼットマークを一ヶ一ヶで一般に頒布し海軍思想の普及徹底を期する事になつた

平職界紹介所報告

回人を求める方
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋
△見習コック 二十迄 尋

東京短期(本日)

寄付	大引	高値	安値
新東	一四七	一四九	一四四
大新	六六	六七	六三
鐘紡	三五	三五	三五
新鐘	三三	三三	三三
日新	二七	二七	二七
帝人	三三	三三	三三
東洋	三三	三三	三三
日石	三三	三三	三三
日産	三三	三三	三三
鋼管	三三	三三	三三
日電	三三	三三	三三

当期	中期	先期	先期
一節	三五	三五	三五
二節	三五	三五	三五
三節	三五	三五	三五
四節	三五	三五	三五
五節	三五	三五	三五
六節	三五	三五	三五
七節	三五	三五	三五
八節	三五	三五	三五
九節	三五	三五	三五
十節	三五	三五	三五

平町南町 電話二四三

川井内科診療所

川井安子

御會葬御禮

永山一枝

五月十八日

御會葬御禮

永山一枝

五月十八日

御會葬御禮

協調の山が見えた

上岡の小作爭議

近く平支部で再調停

双葉郡上岡村大字上岡遠藤義清外十四名の小作人が地主たる東京市淀橋區百人町二丁目小林敏政を相手として小作地先賣契約履行訴訟を平支部に提起した事件は更に同村北農場遠藤小太郎外十一名の小作人が合流するなど此の地方には稀に大掛りな小作爭議として注目されてゐるが右調停委員會は去る十四、五兩日上岡

農民を脅す

坑内流下水

好間に鑛毒騒ぎ

好間村の隅田川藤原兩炭鑛では今回より新たに水送機を取付け坑内の湧水を好間川に排出し初めたので好間川下流は忽ち魚類が激減し同川を唯一の灌漑用水として居る沿岸部落の水田にも悪影響が免れぬとの見地から部落民は水送機の廢止方を兩社に交渉すべく協議中で會社の出様では事態悪化するものと見られ平署で警戒して居る

一丁目衛生

平町一丁目では此の程衛生組合員

村役場樓上で縣より丸山小作官補立會の下に開かれ地主代理人門傳辯護士の標準價格を以て譲渡する旨の誠意ある回答によつて暗雲一掃し委員會では同村の識者三名を價格鑑定人と定め價格決定をなすこととなつた尚續行調停會は來月二日平支部にて開かれるが小作人側では自作農創設低利資金借入の手續を急いでゐる

けさ新川端で

苦悶の老人

旅のテンカン・行路病舎へ

十七日朝六時頃平町新川附近の田圃に一名の老人が轉落苦悶して居るのを通行人が發見平署に届出したので係官が出張取調ると此の老人は栃木縣芳賀郡真岡町宇田町武兵衛の弟室安治郎(五九)で仙臺で商賣に失敗し徒歩で郷里へ引擧る途中前記新川附近で持病の癩癩を起して昏倒して居た事が判り町役場へ行路病人として引渡された

春蠶の

早掃の奨励

取締所の方針

石城地方の春蠶は早いので昨十七日頃から孵化を開始し今月末迄には全部掃立済みとなるが平蠶業取締所では糸目を多く取る爲め一日でも早く掃立るやう奨励し

明日の天気
十九日
今朝は南東の風
驟雨あり明日は
天気好し

今晚の部
後六〇〇 子供の時間
「お話と管絃樂」一國際善
意日とは? ガンレット恒
子 二、管絃樂日の丸管
絃樂團
後六二五 講演「ラデオ
の將來」梶井剛 増補
後七三〇 舞臺劇 増補

明日の部
桃山譚市川中車外
後八二五 歌澤 相生歌
澤寅右衛門
後八三〇 落語「水中の
黄金」三遊亭圓馬
後九三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組豫告

前九三〇 子供の時間
「うたのおけいこ」一かげ
ほうし 四家文字
前一〇〇〇 日曜勸業
一法要 大導師長吏大僧
正田中道順外
前一〇〇四 講演「哲學
今昔譚」桑木殿翼
前一〇一〇 講演「勤王
志士三浦權太夫」青山正
一
後〇、五〇 各局總動員
「お國自慢の行進曲」仙臺
相馬流れ山 松田たけ
後三、二〇 野球試合實況
東京大學野球聯盟リーグ

戦
後六〇〇 子供の時間
管絃樂 衛兵の行進 日本
放送交響樂團
後七三〇 浪花節「葛飾
北齋名畫の復讐」櫻龍幽
靈 酒井雲
後八、〇五 俚謡「七福神
踊歌」伊賀上野町小玉町
有志
後八、二〇 新内「梅雨衣
醉月情話」富士松春太夫
後八、四五 歌謡曲 市丸
後九、〇五 唱詠管絃組曲
「源氏物語抄」武岡鶴代
大阪放送交響樂團

全 國 教 員 總 會

郡から四校長

全國聯合小學校教員總會は來る廿三、四、五の三日間神戸市に於て楠公六百年記念祭と併せて盛大に舉行されるが本郡よりは佐藤内郷、西山小名濱、吉田好間、五十嵐草野の四校長が明後廿日午前七時三十分平驛發にて出發するが總會終了後各先進地の教育状態を視察すると

本郡の統計主任會

廿日から團體事務所

平裁判たより

縣主催統計主任會は來る廿日より廿九日まで縣内各地に於て開催されるが本郡は左記日程により平町團體事務所にて開催の筈
廿七日「國勢調査に關する事項」石城郡各町村
廿八日「學事統計審査」勿來、錦、植田、川部、田人、入遠野、上遠野、渡邊、山田、泉、小名濱、玉川、磐崎、江名、鹿島湯本 廿九日「同」平、高久、内郷、豊間、夏井、澤渡、川前、永戸、赤井好間、大野、神谷、草野平窪、上小川、四倉、飯野、大浦

喧嘩相手の

眼玉を殴る

坑夫平署に捕げる

内郷村大字白水字濱井場磐炭礦夫飲野友吉(三九)は昨十七日午後一時頃濱坑食堂で食事中同僚の金澤政善(三九)と些細のことから大喧嘩となり金澤の左眼部を鐵拳で

艦上點呼

平町から九名

既報來月十五日小名濱に入

△小名濱町宇虎山一四新聞販賣業千葉卯一郎(三七)が同町宇小名川岡木實宿觀音湯事小松作太郎方止宿尾形勝雄を恨み去月廿日午後九時頃同人に談判せんと飲酒の上丸太棒を携へ小松方に至り尾形に會見を求めた處偶然同家より出てきた前記小松の息子賢司を尾形と間違つて毆打し全治三週間の切創を負はし更に同町元虎山自宅前で右暴行理由を詰問に追掛けた賢司の左手指を捻挫した事件は傷害罪にて近く平區小判事係りで公判開廷される



明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島征史
(監) 野口 伍

第百二十六回

延寮館夜景 (七)

新島原と云へば、築地居留地にある紅毛人専門の妓楼の一廓だ。横濱の紅毛人専門の妓楼の繁昌を見て、明治の始め、吉原の中萬字樓主家田彌兵衛が仲間を語らひ築地居留地に遊廓の免許の願ひ出をなしたが、當時新政府は、會津討伐の軍用金に窮してゐた際なので五萬圓の献金と交換するの條件で分納を許して許可したのが新島原、今では、横濱の遊廓はおろか新吉原をしのぐの發展振りだつた。

その不夜城……新島原へ此の世にも稀なる美人が歸るといふのだ磯野彌助が、小首を傾げるも無理はない『新島原まで行つて、車をお召になるのですか』
『いえ、新島原に約束がございますの』
『約束?』
『え、お座敷がかゝつてますのオホ、』
磯野には、何んの意味か分り兼ねた。しかも、ダンス場でトランプ室で紳士貴婦人と應對してゐた時の自づと備はる氣品を少しづつてぬが、其の上に、一

愛嬌を漂はして磯野に媚笑を送るのだ。
『あのう、あなたもあちらへ』
美女は、寄りそつて来て訊ねた。香水のふくいくたる香に、磯野は深く惱まされた。
『え、いえ、しかし、あ

『どうして、お一人で、お馬車やおくるまを召されないので?』
磯野は、女の後に續きながら訊ねた。
『さうね……どうしてでございますか、オホ、』
女は、延寮館を遠ざかり新島原へ近づくにしたがつて身にそなはる氣品をすてゝ、いきにくくだけて来る様子。
『こんな夜更けの一人歩きは危険ぢやないですか』
『でも、あなたの様な、御親切な方が世の中には多う御座いますのねえオホ、』



あなたのお供をさして戴ければ、不夜城の探検も敢て辭しませんな、』
『オホ、うまい事を仰しやいました……』
女は、お供を許すとも何とも云はず、再び連歩を運んだ。

『これはどうも……』
磯野は女の嬌舌に敵しかねて少々へき易したが、其の儘引きさがるわけにはいかぬ。
『でもねえ、皆様延寮館で踊りなさん、みんな氣さ

くな方たちね。木戸さんでも、伊藤さんでも、本當に面白い方ですわ』
『大隈さんは、どうですか?』
『さうね、あの方、随分大風呂敷だつて、さう皆さま仰しやつてますわ。でも、あの方や副島さんも、ダンスをなさると、角がとれて参りますわ』
『岩崎さんは?』
『あの方、強氣ですのねえでも副島さんたちと貸つて随分さばけてますわ』
これは一体、何物だらうと磯野はいよゝ薄氣味わるく思つた。
『あなたも官員さん?』
女は云つた。
『いや、政界を遊泳するものですよ』
くるしい答辯だ。

吸入用酸素純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
器量計
体温計
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局

電話四〇番

写真材料一式販賣致シマス

三五年型流線美の極致
陸の王者
流線ダツチ
花と競ふその艶姿……乗心地……

到着
電話三二番
東京鐵道局公認
不二タクシー

是非!

通には御用命下さい
利な御相談に應じます

三井質店
平四・電六〇六番



玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

電話新設

電話五六一番

石城郡平町仲町六番地
太陽生命保險株式會社
磐城支店長 長瀬卯太
本社 東京市日本橋區江戸橋二丁目八
支社 仙臺市南町六十